

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達サポートウィンクルム		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日		～ R7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日		～ R7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもを理解し、特性等に応じた専門性のある支援 (自閉スペクトラム症に特化した支援)	常に専門的な研修会に参加している 適切なアセスメントの実施	研修会で知り得た情報を他の職員へ伝達 職員全員のアセスメント力の向上を目指す
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができている	来所のたびに個別の時間をもち、連携を行っている 連絡帳の活用	保護者が理解しやすい言葉に気を付ける
3	こどもを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、個別支援計画が作成されている	日々の支援終了後に短期目標の達成状況を振り返り、次回の取り組みの計画を立てている	新しい個別支援計画書をもとにその子に応じた支援の優先順位をつけることで、発達段階に応じた支援を行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的に通信やHP、SNS等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	SNSを活用していない	紙面や保護者ルームの掲示物などで情報を発信をしていく
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症マニュアル等が保護者に周知説明されているか	保護者ルームでの掲示をしているが、見づらく分かりにくい	見やすいところに配置を変更する
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか	宣伝力の弱さ	保護者に聞き取り、日程や時間帯などのニーズを捉え、計画する